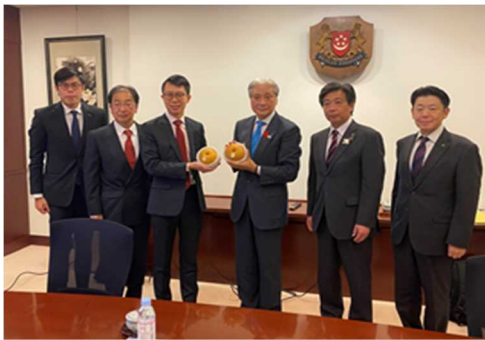


メルマガ「とちぎ通信」 2021年秋号（第33号）

■とちぎ型大使館外交

県では、県産品や県産農産物等の海外販路開拓・拡大及びインバウンド誘客促進に向けて、駐日大使等に対してトップセールスを行っています。海外における現地でのプロモーション活動ができない中、母国や国内在住者に影響力を持つ駐日大使等に対し、福田知事が直接、本県の魅力・実力をPRする取組です。2021年10月25日には、駐日シンガポール大使館及び駐日ベトナム大使館を、11月4日には駐日タイ王国大使館を訪問し、人的交流から観光、経済・貿易まで様々な分野に及ぶ意見交換を行いました。

<駐日シンガポール大使館>



▲（左から3番目）ロウ・ホンマン首席公使

<駐日ベトナム大使館>



▲（右から2番目）ヴー・ホン・ナム特命全権大使

<駐日タイ大使館>



▲（右から3番目）シントン・ラーピセートパン特命全権大使

■国際交流員（GIR）自己紹介



はじめまして！私の名前はメーガン・ハバーストローです。南カリフォルニア州のサン・ディエゴ郡出身です。10月から国際課に国際交流員として勤めています。

サン・ディエゴは山、海辺、農場、小さな町も含めて、バラエティ豊かな地域です。ハイキングやサーフィンも人気で、私もハイキングが大好きです。

私は中学生のころから日本語や日本文化に興味を持ち始めました。少女漫画、怪獣映画、宝塚歌劇団まで、幅広い日本のポップカルチャーが大好きです。私は果物が大好きなので、「いちごの国」と呼ばれている栃木県にいられることは夢のようでラッキーです！

■「47（そこ）から始まる栃木県」プロジェクト

栃木県は、民間調査会社による「都道府県魅力度ランキング」において、2020年に47位となりました…。この結果によりメディア等で注目されている機会をチャンスととらえ、栃木県の本物の魅力を多くの方に知っていただくため、「47（そこ）から始まる栃木県」プロジェクトを立ち上げました。

本県にゆかりがある著名人「とちぎ未来大使」が本県の魅力を語る動画や、お笑い芸人「3時のヒロイン」を起用した観光PR動画のインターネット配信に加え、県内のセブンイレブン全店で「とちぎ和牛」や「とちおとめ」などの県産素材を使用した商品を販売するキャンペーン等を実施しました。こうした魅力発信策が奏功し(?)、今年10月に発表された2021年の魅力度ランキングで本県は41位となり、最下位を脱出しました。今後も、国内のみならず、世界に本県の魅力を発信できるよう、引き続き「とちぎびと」の皆様の御協力をお願いいたします！

<リンク先> 「47（そこ）から始まる栃木県」プロジェクト

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/a04/47project.html>

■編集者の食べ歩き紹介

◇若竹の杜 若山農場



広大な竹林で有名な宇都宮市の観光スポット「若竹の杜 若山農場」。ここでは、竹の器に入ったお抹茶と秋の味覚「栗」の和菓子を楽しめます。若山農場で採れた栗に少しだけ砂糖を加えて固めた和菓子は、素朴で濃厚な美味しさ。約24haの面積を誇る竹林に囲まれて一休みする時間はまさに非日常で癒やされます。夜には竹林のライトアップが開催され、とても幻想的です♪

えて固めた和菓子は、素朴で濃厚な美味しさ。約24haの面積を誇る竹林に囲まれて一休みする時間はまさに非日常で癒やされます。夜には竹林のライトアップが開催され、とても幻想的です♪



▲お抹茶と和菓子



▲竹林ライトアップ
撮影時は星も綺麗でした☆

■県内における新型コロナウイルス感染症の現状

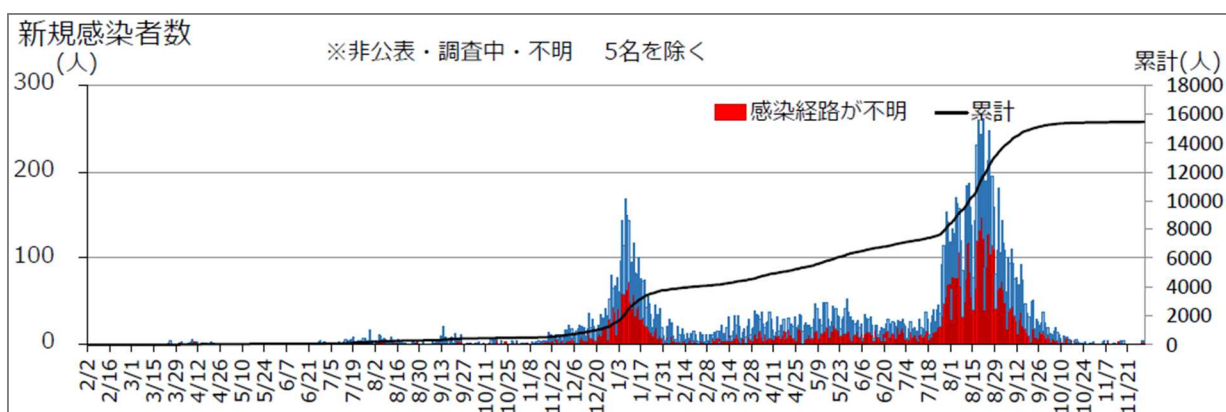
本県における新規感染者数や療養者数は着実に減少し、医療提供体制への負荷が軽減したことから、10月31日以降、警戒度レベルをステージ2からステージ1へ引き下げました。

県では、県民の皆様により安心して飲食店を利用いただくため、感染防止対策に取り組む飲食店を認証して公表する感染防止対策認証制度「とちまる安心認証」を実施し、認証店の利用を呼びかけていま

す。また、県民による県内旅行を促進するため、「県民一家族一旅行」を実施するなど、感染拡大防止と社会経済活動の両立に取り組んでいるところです。とちぎびとの皆様におかれましても、引き続きご自愛ください。

<リンク先> 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/kouhou/korona.html>



発行・編集：栃木県産業労働観光部国際課

E-mail: senryaku@pref.tochigi.lg.jp

発行日：2021年12月3日（金）

世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、ペルー共和国・リマに所在する「ペルー栃木県人会」の渡辺様に、同県人会の活動について執筆いただきました。渡辺様、ありがとうございました。ペルー栃木県人会の皆さまのますますの御活躍を期待しています。※掲載を希望される皆さまからの御連絡をお待ちしています！

ペルー栃木県人会

事務局 渡辺 宏美

¡HOLA! 皆さん、こんにちは。

ペルー栃木県人会のご紹介です。私たちの活動拠点は南米大陸、ペルー共和国の首都リマです。日本から見ると地球の反対側に位置しているの、



栃木が冬のときリマは真夏。これからリマっ子が大好きな夏が始まります。去年の夏はコロナウィルス対策で、ビーチへのアクセスが制限されていましたが、今年は解除されたのでみんな楽しみにしています。ペルーはアンデスやアルパカ、マチュピチュ遺跡の印象が強いので、ビーチ？と首をかしげる方もいらっしゃるかもしれませんが、海岸線はエクアドルからチリまで長く伸びていて、素晴らしい場所がたくさんあります。そして、海の幸も豊富で美味！特に「セビーチェ」という、新鮮な生の魚介をフレッシュ



▲セビーチェ

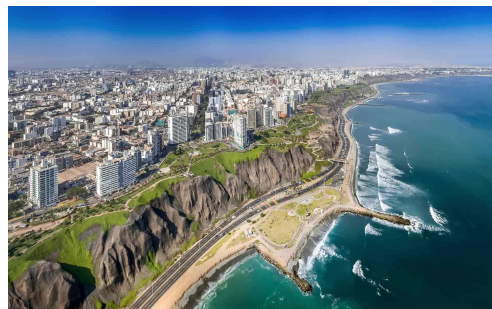
ユライムの果汁でマリネした料理は絶品で、ペルー人だけではなく在住の日本人も、世界各国からの旅行者も、誰もが大好きな一品です。

さて、栃木県人会は1982年に活動が始まり、会員は現在67名。メンバーは栃木県出身の移民の二世、三世、四世が中心です。ですから、日本語ができるメンバーは少数で、会話のほとんどはスペイン語です。あまり知られていませんが、ペルーは南米で初めて日本人が移民として入った国であり、とても連帯が強く、郷土愛に富み、多彩な人材を誇る日系人コミュニティがあります。私たちは、主にリマの日系人協会と連携して活動しています。

残念なことに、コロナ禍で今までのやり方での活動やイベントができなくなってしまい、どうやって会を盛り上げていこうかと考えていたところ、若いメンバーからアイデアが出て、今年、県人会として初めてオンラインイベントを開催しました。栃木県の魅力をオンラインで発信するものです。栃木市で活動するお囃子保存会に特別出演して頂いたり、準備段階で栃木市国際交流会会員の方にご助力頂いたり、更には紹介するトピックを集める段階で、メンバー自身が改めて「栃木県ってどんなところなのか」について理解を深められたり…と、イベント当日だけでなく準備も含めて、とてもよい活動、交流、そして発信が実現しました。参加者は日本語や日本文化に関心の高い10代と20代の人たちが多く、中にはメキシコから参加してくれた人も。「日本に行ったら絶対栃木でいちご狩りする！」とか、「栃木って聞いたことなかったけど面白そう。」「映画のロケ地回りしたい。」「東京からも近いし、行ってみたい。」「よし、餃子食べに行くぞ。」等、とてもポジティブなコメントが寄せられ、嬉しい手ごたえを感じました。今後も、いろいろな形で多世代が楽しく参加できるような活動を通して、栃木県とペルーをつないでいけたらと考えています。



▲リマ旧市街世界遺産地区



▲海から見たリマ